

## 環境省 谷津 龍太郎 事務次官が「京橋トラストタワー」の現場を見学

戸田建設(株) (社長：今井雅則) が、東京都中央区京橋二丁目において施工中の「京橋トラストタワー (発注者：森トラスト株式会社)」の現場を、環境省事務次官 谷津龍太郎氏が見学されました。

戸田建設は環境省「エコ・ファースト制度<sup>\*1</sup>」によるエコ・ファースト企業として認定されています。今回の見学会は環境省が主催するエコ・ファースト企業との勉強会を通じて計画、実施されたものです。

見学会は平成25年10月24日(木)午前10時30分から1時間半をかけて行われました。

冒頭に、発注者である森トラスト コンストラクションマネジメント部 増永 義彦 部長より挨拶ののち、谷津事務次官よりご挨拶を頂きました。京橋トラストタワーは、地上21階、地下3階、延床面積約52,000㎡のオフィス・ホテル・商業用途で構成される複合ビルです。

高い環境性能を持つと同時に、災害時におけるBCP(事業継続計画)の確保を目指したビルです。その目標を達成するために、環境省の「平成24年度地球温暖化対策技術開発・実証研究事業」に「太陽光をエネルギー源とした災害時大規模ビル電源供給に関する実証研究」のテーマで応募し採択を受けています。

見学会では、逆打ち工法<sup>\*2</sup>を活用し工程短縮を実践したことや、近接して走行する東京メトロ銀座線からの騒音振動を防ぐための防振対策の工夫が紹介されました。その後、高層階から低層階にかけて現場内の見学を行い、1階に設置された廃棄物集積場にて、建設廃棄物が12種類に分別され、段ボール類は圧縮機にかけて減容化を図っている状況も視察されました。

見学の最終に建物5階に設置されたオフィス階モデルルームにて、ビルの持つ環境性能やBCP対応技術について事務次官と同行された環境省担当の方々を含め、熱心にご見学を頂き、また、活発な意見交換が行われました。

\*1：エコ・ファースト制度とは、企業の環境保全に関する業界のトップランナーとしての取組を促進していくため、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取組を約束する制度。

\*2：逆打ち工法とは、工事工期の短縮のため1階の床を先行で造り上部階を引き続き建てると同時に、地下階を掘りながら順次地下1階、地下2階と下に造っていく工法。



写真-1 谷津事務次官ご挨拶



写真-2 森トラスト増永部長ご挨拶



写真-3 見学の様子



写真-4 活発な意見交換